

福井県長期ビジョンの実現に向けたアンケート調査結果

・調査期間 令和3年10月25日～11月15日
 ・調査対象 県内に居住する満18歳以上の3,000人(住民基本台帳から年代別は無作為抽出)
 ・回答者数 1,686人(回収率 56.2%)

○居住地

	送付数	回答数	回収率	割合
福井市	1,010	571	56.5%	33.9%
あわら市	112	64	57.1%	3.8%
坂井市	345	193	55.9%	11.4%
永平寺町	76	41	53.9%	2.4%
大野市	126	61	48.4%	3.6%
勝山市	91	45	49.5%	2.7%
鯖江市	265	145	54.7%	8.6%
越前市	314	181	57.6%	10.7%
越前町	80	45	56.3%	2.7%
池田町	10	6	60.0%	0.4%
南越前町	40	22	55.0%	1.3%
敦賀市	252	123	48.8%	7.3%
小浜市	113	61	54.0%	3.6%
美浜町	38	26	68.4%	1.5%
高浜町	41	23	56.1%	1.4%
おおい町	31	14	45.2%	0.8%
若狭町	56	37	66.1%	2.2%
未記入・無効等	-	28	-	1.7%
計	3,000	1,686	56.20%	100.0%

○年齢

	送付数	回答数	回収率	割合
10代	72	21	29.2%	1.2%
20代	307	100	32.6%	5.9%
30代	362	167	46.1%	9.9%
40代	482	258	53.5%	15.3%
50代	450	258	57.3%	15.3%
60代	480	345	71.9%	20.5%
70代～	847	511	60.3%	30.3%
未記入・無効等	-	26	-	1.5%
計	3,000	1,686	56.20%	100.0%

○性別

	回答数	割合
男	754	44.7%
女	887	52.6%
答えたくない	20	1.2%
未記入・無効等	25	1.5%
計	1,686	100.0%

○職業

	回答数	割合
正規の職員・従業員	537	31.9%
労働者派遣事業所の派遣社員	13	0.8%
パート・アルバイトその他(契約社員・嘱託なども含む)	309	18.3%
会社などの役員	69	4.1%
自営業主(雇人あり)	47	2.8%
自営業主(雇人なし)	84	5.0%
家族従業者	58	3.4%
学生	40	2.4%
無職	450	26.7%
その他	39	2.3%
未記入・無効等	40	2.4%
計	1,686	100.0%

○世帯構成

	回答数	割合
ひとり暮らし(単身赴任を含む)	46	2.7%
夫婦のみ	197	11.7%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と子ども)	626	37.1%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と親など)	205	12.2%
3世代同居世帯(本人と子どもと孫)	224	13.3%
3世代同居世帯(親と本人と子ども)	244	14.5%
3世代同居世帯(本人と親と祖父母など)	65	3.9%
その他	53	3.1%
未記入・無効等	26	1.5%
計	1,686	100.0%

○配偶者の有無

	回答数	割合
有	1,326	78.6%
無	312	18.5%
未記入・無効等	48	2.8%
計	1,686	100.0%

○共働き(配偶者がいる方のみ)

	回答数	割合
共働きである	722	54.4%
共働きではない	564	42.5%
未記入・無効等	40	3.0%
計	1,326	100.0%

○小学生以下の子どもの有無

	回答数	割合
いる(未就学児)	169	9.6%
いる(小学生)	195	11.1%
いない	1,265	71.8%
未記入・無効等	134	7.6%
計	1,763	100.0%

* 未就学児と小学生がいる回答者77名

○祖父母の家の範囲(小学生以下の子どもがいる方のみ)

	回答数	割合
同居	96	33.4%
同じ敷地内の別家屋	40	13.9%
車で15分未満の範囲	77	26.8%
車で15～30分以内の範囲	35	12.2%
車で30分を超える範囲	31	10.8%
その他	6	2.1%
未記入・無効等	2	0.7%
計	287	100.0%

項目別の調査結果

問1 令和6年春に北陸新幹線の福井・敦賀開業が予定されています。あなたは福井県内に新幹線が開業することについて、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

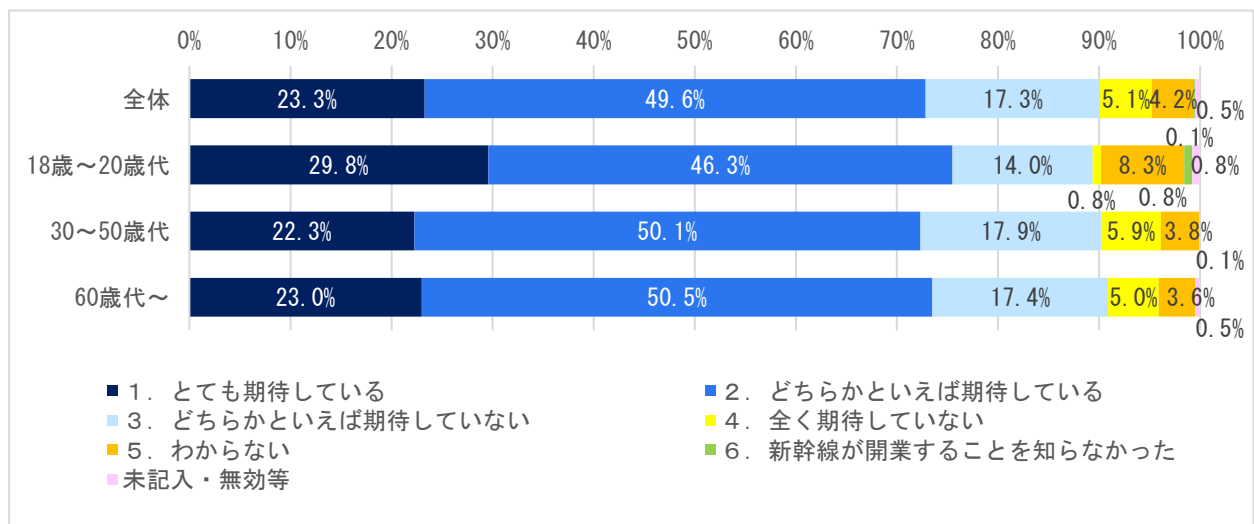
1. とても期待している (392)
2. どちらかといえば期待している (836)
3. どちらかといえば期待していない (292)
4. 全く期待していない (86)
5. わからない (71)
6. 新幹線が開業することを知らなかった (1)

※上記カッコ内は、各項目の回答者数（問2以降も同様）

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数／回答者総数」（問2以降も同様）

※未記入・無効等の関係で、回答者数の合計と回答者総数が一致しない場合がある。

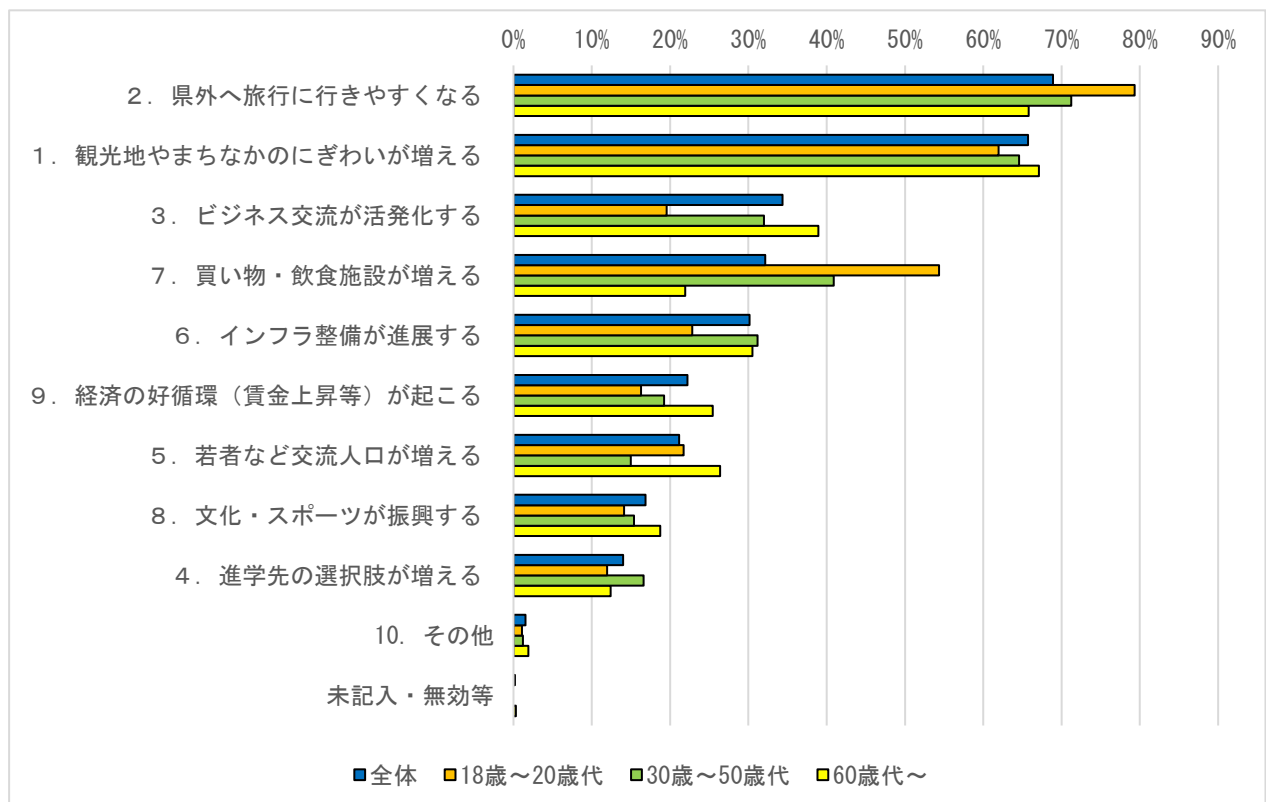
- ・全体として、「とても期待している」「どちらかといえば期待している」の合計割合は、72.9%となった。
- ・「とても期待している」の割合は、18歳～20歳代が最も高いが、「どちらかといえば期待している」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。



問2 問1で1～2と答えた方のみお答えください。あなたが新幹線開業に期待するのはどのような部分でしょうか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。

1. 観光地やまちなかのにぎわいが増える (807)
2. 県外へ旅行に行きやすくなる (846)
3. ビジネス交流が活発化する (422)
4. 進学先の選択肢が増える (172)
5. 若者など交流人口が増える (260)
6. インフラ整備が進展する (370)
7. 買い物・飲食施設が増える (395)
8. 文化・スポーツが振興する (207)
9. 経済の好循環（賃金上昇等）が起こる (273)
10. その他 (19)

- ・全体として、「県外に旅行に行きやすくなる」が68.9%と最も高く、次いで「観光地やまちなかのにぎわいが増える」が65.7%となっている。
- ・18歳～20歳代では、「県外に行きやすくなる」と回答した割合が79.3%と、他の世代に比べて非常に高くなった。同様に、「買い物・飲食施設が増える」の割合も53.4%と他の世代と比較して高くなっている。

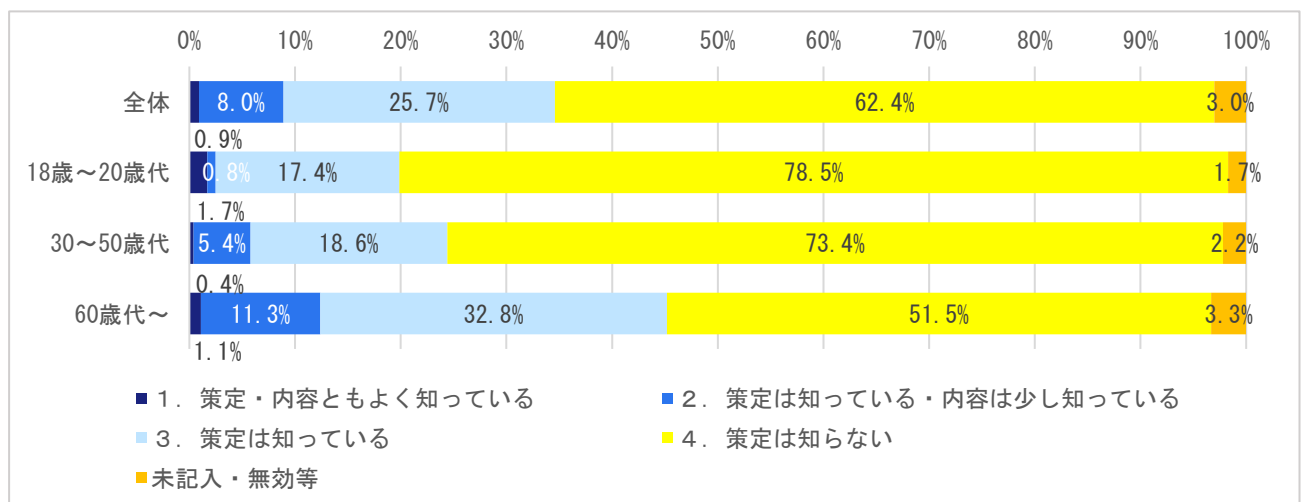


問3 北陸新幹線県内開業等により、福井県は今100年に1度の大きなチャンスを迎えています。県では、県民の皆さまと福井県が目指す将来像を共有するため、5,000人を超える県民の皆さまのご協力のもと、令和2年7月に「福井県長期ビジョン」を策定しました。

あなたは「福井県長期ビジョン」について知っていましたか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 策定されたことを知っており、ビジョンの内容についてもよく知っている (15)
2. 策定されたことを知っており、ビジョンの内容についても少しは知っている (135)
3. 策定されたことは知っている (434)
4. 策定されたことを知らない (1052)

- ・全体として、長期ビジョンの策定を知っている（選択肢1～3の合計）割合は34.6%であり、昨年よりも9.7%増えている。
- ・年代別にみると、長期ビジョンの策定を知っている割合は、18歳～20歳代で19.9%、30～50歳代で24.4%、60歳以上で45.2%となり、年代が上がるにつれて高くなっている。



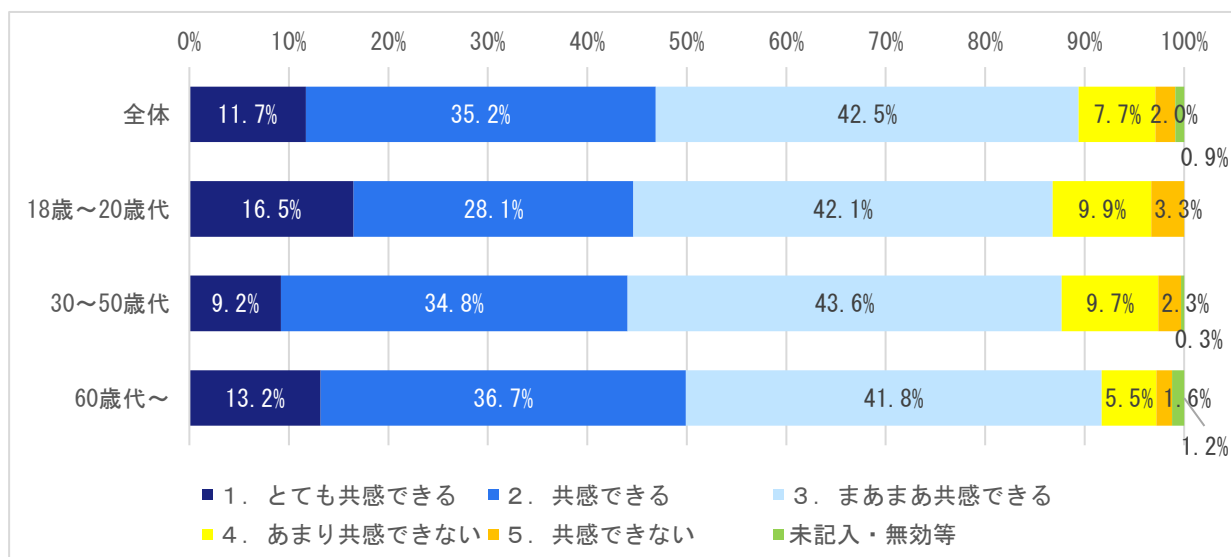
問4 「福井県長期ビジョン」では、基本理念として「『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！」を掲げています。

これは、長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを守り、次世代に引き継ぐとともに、その安定した社会基盤をもとに誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」ふくいを目指す、というものです。

あなたは、この「『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても共感できる (197)
2. 共感できる (594)
3. まあまあ共感できる (716)
4. あまり共感できない (129)
5. 共感できない (34)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が11.7%、「共感できる」が35.2%、「まあまあ共感できる」が42.5%で、回答者の89.4%から共感を得ている。
- ・「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が16.5%と最も高くなっているが、共感を得ている割合は年代が上がるごとに高くなっている。



問5 「福井県長期ビジョン」では、「自信と誇りのふくい」「誰もが主役のふくい」「飛躍するふくい」を、2040年の福井県が目指す姿として示しています。

「自信と誇りのふくい」は、先人たちが培ってきた「ふくいらしさ」を守り、価値を高めるとともに、県民が誇りを持って暮らすことにより、さらに多くの人を呼び込んでいく、というものです。

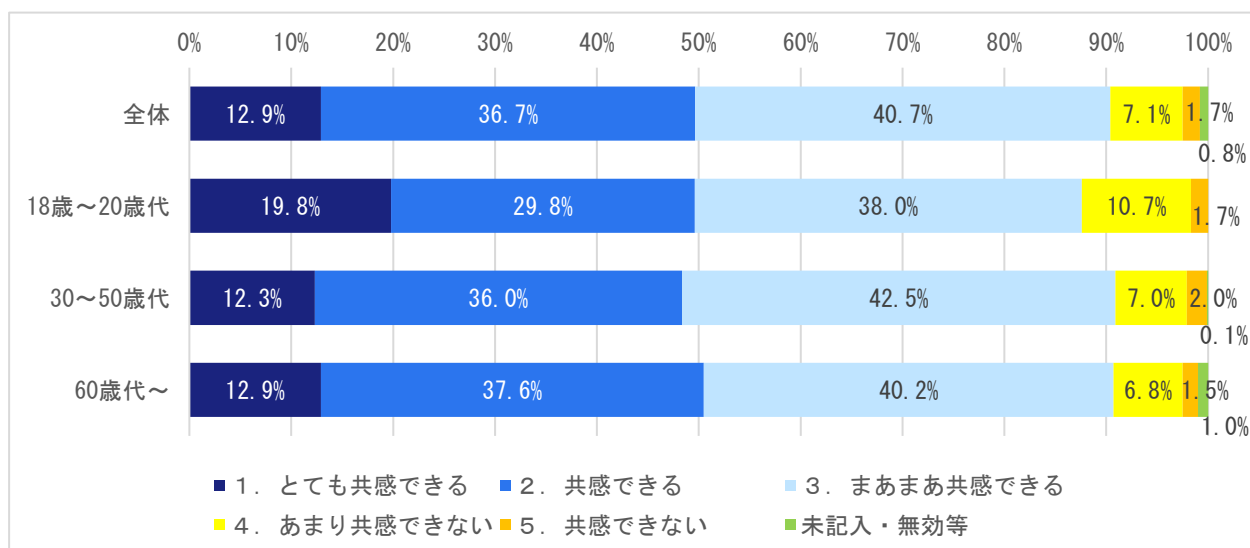
「誰もが主役のふくい」は、多様性を認め合い、誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を築くことにより、すべての人が輝き、支え合い、幸せを実感しながら、将来にわたり安心して暮らせる福井を実現する、というものです。

「飛躍するふくい」は、交通体系の進展や技術革新を最大限に活かして、新時代の産業基盤を確立するとともに、くらしの質を高め、創造的かつ活力に満ちた地域をつくる、というものです。

あなたは、これら3つの目指す姿について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても共感できる (218)
2. 共感できる (618)
3. まあまあ共感できる (687)
4. あまり共感できない (120)
5. 共感できない (29)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が12.9%、「共感できる」が36.7%、「まあまあ共感できる」が40.7%で、回答者の90.3%から共感を得ている。
- ・「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が19.8%と最も高くなっているが、共感を得ている割合は、18歳～20歳代が87.6%、30～50歳代が90.8%と最も高く、次いで60歳代以上で90.7%となっている。



問6 「福井県長期ビジョン」では、計画の基本目標として「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」を掲げています。

これは、「幸福度日本一」と評価される福井県の総合力の高さを活かし、住む人のしあわせを第一に、定住人口※1の確保を図るとともに、交流人口※2・関係人口※3を大きく拡大することにより、活力と楽しみにあふれる「活力人口100万人ふくい」を実現する、というものです。

あなたは、この「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

※1 定住人口：福井県に住んでいる人口

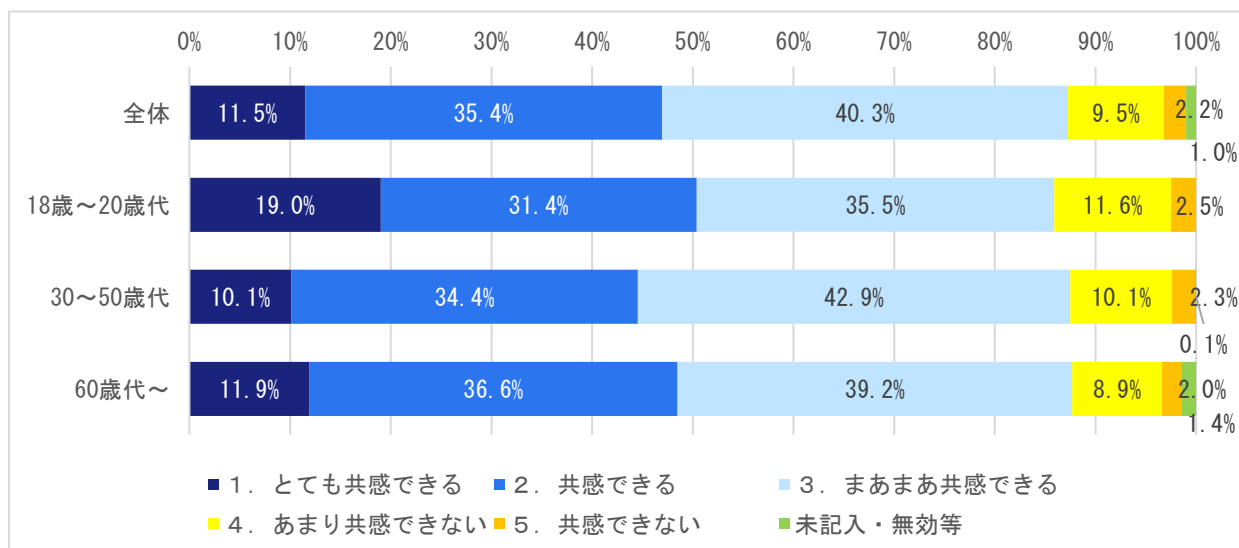
※2 交流人口：一時的に福井県に滞在する人口（観光客やビジネスなど）

※3 関係人口：福井県と継続的に関わる人口（福井県を二地域居住の拠点としている、福井県に帰省している、毎年県外から福井のお祭りに参加している、など）

1. とても共感できる (194)
2. 共感できる (597)
3. まあまあ共感できる (680)
4. あまり共感できない (161)
5. 共感できない (37)

・全体では、「とても共感できる」の割合が11.5%、「共感できる」が35.4%、「まあまあ共感できる」が40.3%と、回答者の87.2%から共感を得ている。

・「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が19.0%と最も高くなっているが、共感を得ている割合は、18歳～20歳代が85.9%、30～50歳代が87.4%、60歳以上が87.7%と、年代が上がるごとに高くなっている。



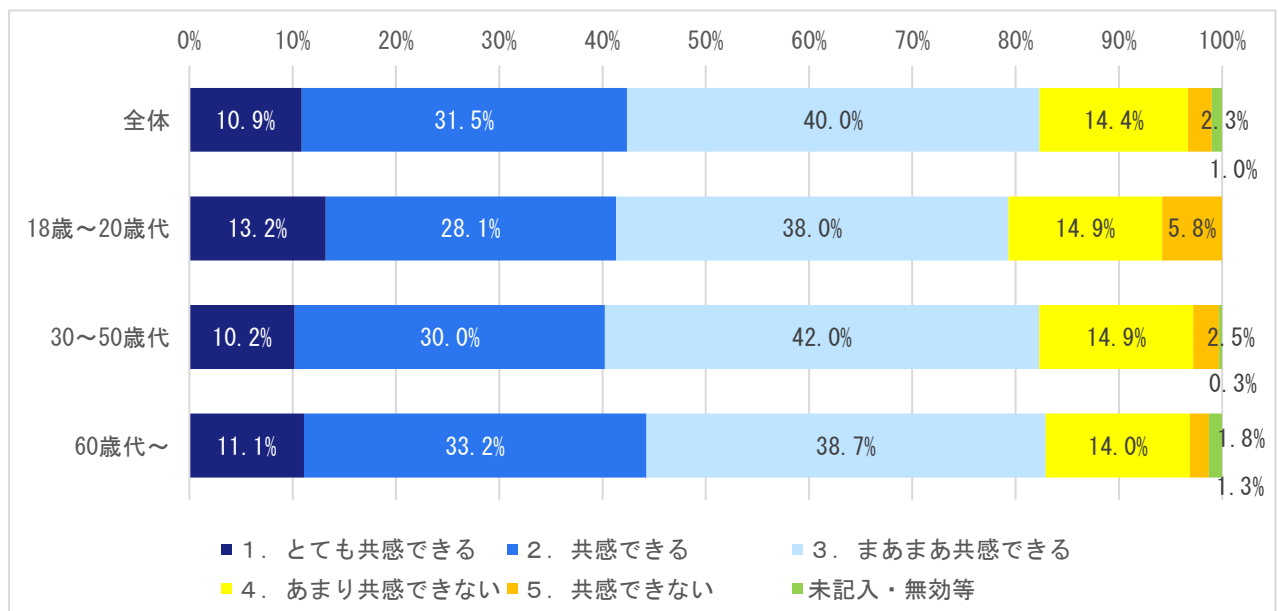
問7 「福井県長期ビジョン」では、今後5年間、3つの目指す姿のうち「飛躍するふくい」に重点を置き、その実現に向けて、「とんがろう、ふくい」をコンセプトに「新時代スタートアッププロジェクト」を進めていきます。

この「とんがろう、ふくい」には、一人ひとりが個性を発揮し、変化や失敗を恐れず、お互いのチャレンジを応援し合う福井を目指そう、という想いが込められています。

あなたは、この「とんがろう、ふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても共感できる (183)
2. 共感できる (531)
3. まあまあ共感できる (674)
4. あまり共感できない (242)
5. 共感できない (39)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が10.9%、「共感できる」が31.5%、「まあまあ共感できる」が40.0%で、回答者の82.4%から共感を得ている。
- ・「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が13.2%と最も高くなっているが、共感を得ている割合は、18歳～20歳代が79.3%、30～50歳代が82.2%、60歳以上が83.0%と、年代が上がるごとに高くなっている。

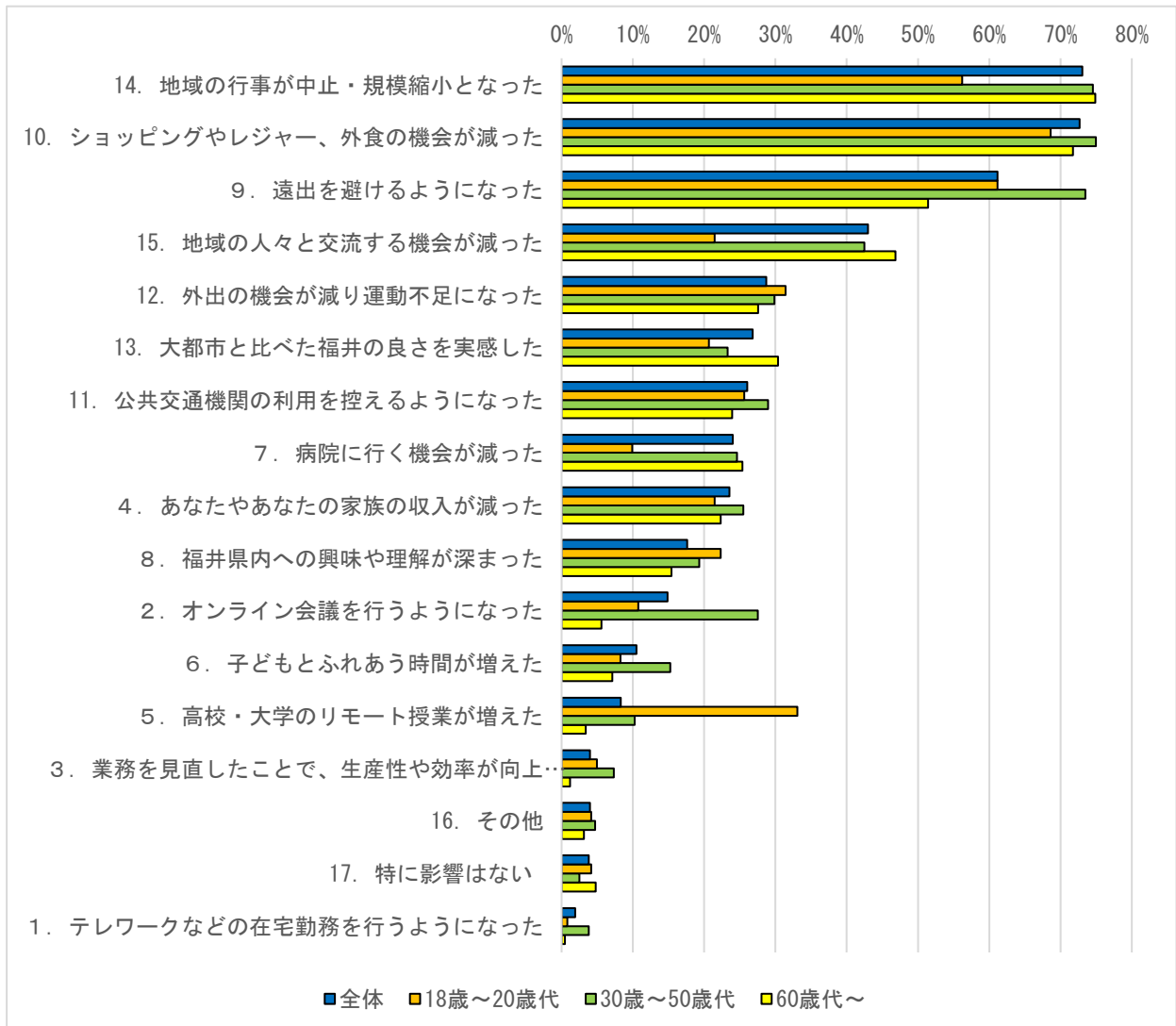


問8 新型コロナウイルス感染症についてお聞きします。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたはどのような影響を受けましたか。
当てはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

1. 週3日以上テレワークや在宅勤務を行なうようになった (32)
2. 社内会議や遠方の取引先との打ち合わせなどをオンラインで行うようになった (251)
3. 仕事先でのネットワーク機器や情報システムの導入、ウィズコロナに対応するため業務の見直しなどにより、生産性や効率が向上した (67)
4. あなたやあなたの家族の収入が減った (397)
5. 高校・大学のリモートでの授業が増えた (140)
6. 家にいる時間が増え、育児や子育てなどの子どもとふれあう時間が増えた (177)
7. 感染リスクを避けるなどの理由で病院に行く機会が減った (405)
8. 近場に足を運ぶ機会が増え、福井県内への興味や理解が深まった (297)
9. 出張・観光など遠出を避けるようになった (1031)
10. ショッピングやレジャー、外食の機会が減った (1225)
11. 鉄道やバスなど、公共交通機関の利用を控えるようになった (439)
12. 外出の機会の減少などにより、運動不足になった (484)
13. 大都市と比べた福井の良さを実感した (452)
14. 地域の行事が中止または規模縮小となった (1232)
15. 近所づきあいや自身の住む地域の人々と交流する機会が減った (725)
16. その他 (67)
17. 特に影響はない (64)

- ・全体では、「地域の行事が中止または規模縮小となった」が73.1%と最も高く、次いで「ショッピングやレジャー、外食の機会が減った」が72.7%、「遠出を避けるようになった」が61.2%と続いた。
- ・職業別で見ると、上位3項目は全体の結果と同様だったが、「正規の職員・従業員」等では、上位4位として「地域の人々と交流する機会が減った」を挙げる一方、「派遣社員」や「自営業主（雇人あり）」等では、「あなたやあなたの家族の収入が減った」が挙がるなど違いが見られた。

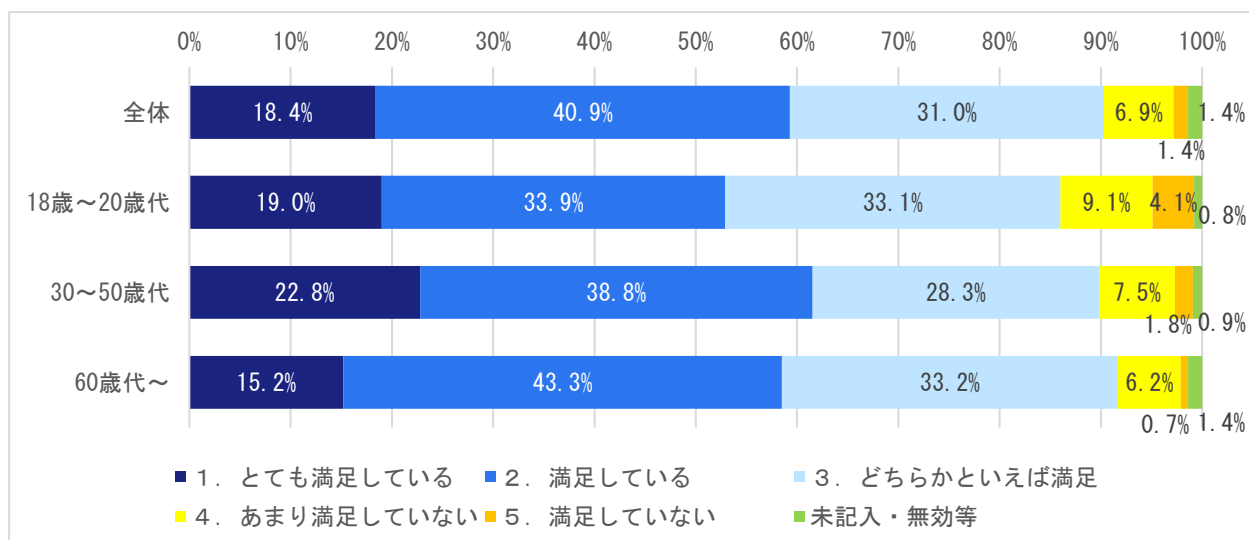


問9 県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、関係者とともに下記のような様々な施策を実施してきました。あなたは福井県が行なってきた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、どのように感じていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 【特色ある対策の一例】**
- ・ 妊婦を対象にしたPCR検査
 - ・ 県民を対象にしたマスク購入券の配布
 - ・ AIを活用したSNSサイト検索による誹謗中傷対策
 - ・ 臨時の医療施設の整備
 - ・ 若年層および妊娠中の方のワクチン接種優先枠の確保

1. とても満足している (311)
2. 満足している (689)
3. どちらかといえば満足している (523)
4. あまり満足していない (117)
5. 満足していない (23)

- ・ 全体として、「とても満足している」「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した方の割合は90.3%であった。年代が上がるにつれて、この割合は高くなっている。
- ・ 職業別では、上記割合について、「自営業主（雇人あり）」が最も高く、95.7%だった。また、「とても満足している」の割合が一番高かったのは「学生」で、25.0%だった。

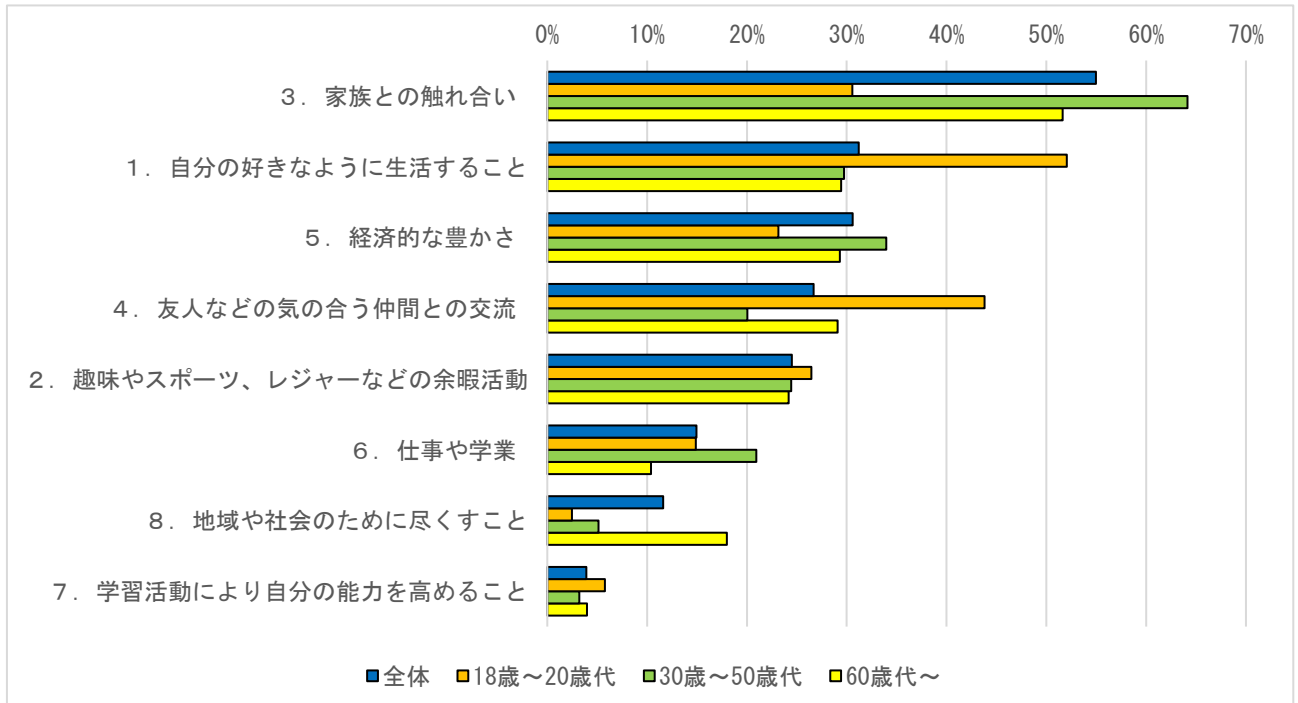


問 10 福井県の暮らしについてお聞きします。

あなたが、日々の生活の中で大切にしたいと思っていることはどのようなことですか。
最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

1. 自分の好きなように生活すること (526)
2. 趣味やスポーツ、レジャーなどの余暇活動 (413)
3. 家族との触れ合い (927)
4. 友人などの気の合う仲間との交流 (450)
5. 経済的な豊かさ (516)
6. 仕事や学業 (252)
7. 学習活動により自分の能力を高めること (66)
8. 地域や社会のために尽くすこと (196)

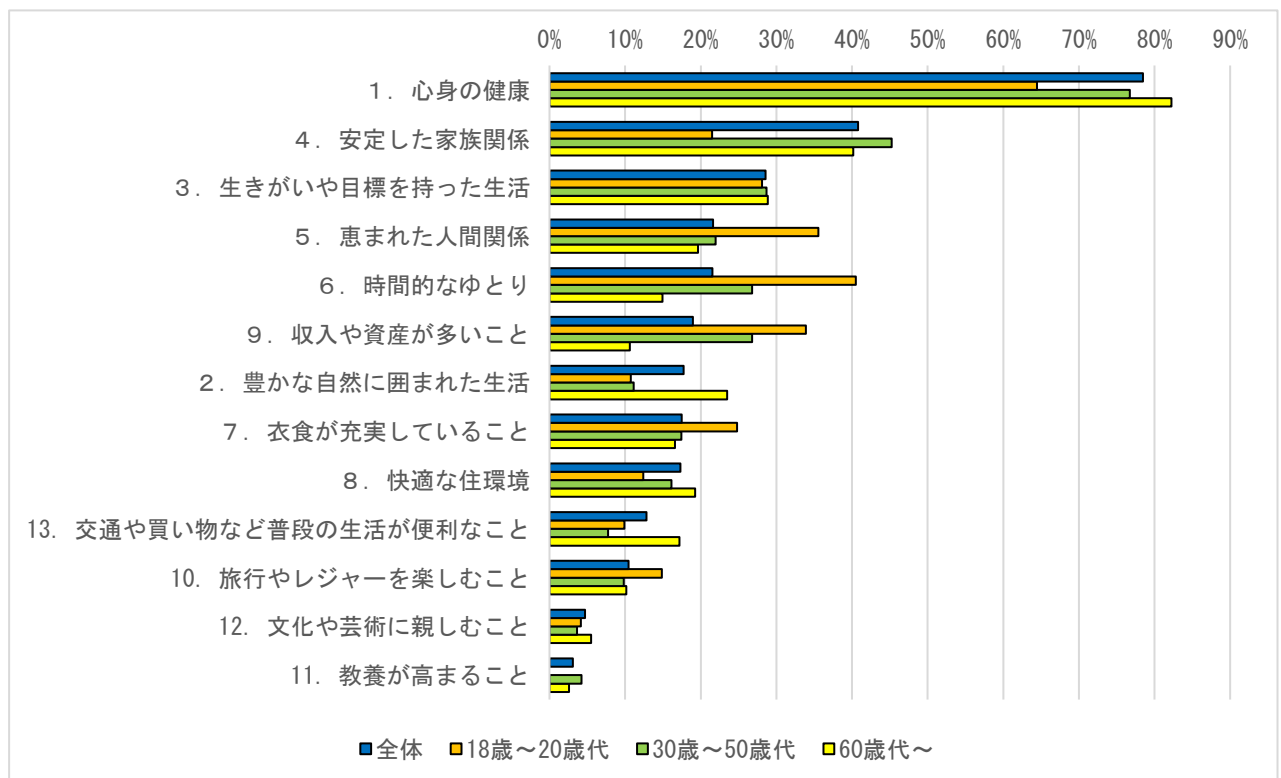
- ・「全体」として、「家族との触れ合い」が55%と最も高く、次いで「自分の好きなように生活すること」が31.2%で高かった。
- ・「年代別」では、それぞれ最も回答割合が高かった項目として、18歳～20歳代では「自分の好きなように生活すること」が52.1%、30～50歳代は「家族との触れ合い」が64.1%、60歳以上も同じく「家族との触れ合い」で51.6%となった。



問11 あなたにとって「豊かさ」とはどのようなことですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 心身の健康 (1323) | 2. 豊かな自然に囲まれた生活 (299) |
| 3. 生きがいや目標を持った生活 (482) | 4. 安定した家族関係 (688) |
| 5. 恵まれた人間関係 (365) | 6. 時間的なゆとり (363) |
| 7. 衣食が充実していること (295) | 8. 快適な住環境 (292) |
| 9. 収入や資産が多いこと (320) | 10. 旅行やレジャーを楽しむこと (176) |
| 11. 教養が高まること (52) | 12. 文化や芸術に親しむこと (79) |
| 13. 交通や買い物など普段の生活が便利なこと (216) | |

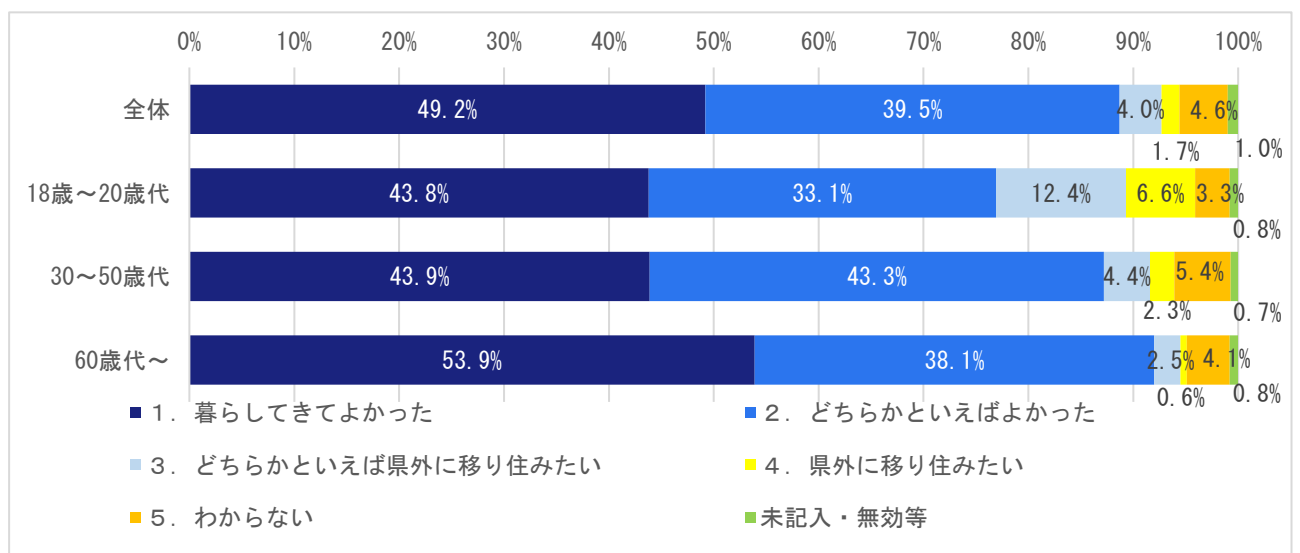
- ・「全体」としては、「心身の健康」が78.5%で最も高く、次いで「安定した家族関係」が40.8%で高かった。
- ・「年代別」で見ると、いずれの世代も最も高いのは「心身の健康」だったが、次いで高い項目は、18歳～20歳代では「時間的なゆとり」、30～50歳代および60歳以上では「安定した家族関係」となった。



問12 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 暮らしてきてよかった (829)
2. どちらかといえば暮らしてきてよかった (666)
3. どちらかといえば県外に移り住みたい (67)
4. 県外に移り住みたい (29)
5. わからない (78)

- ・全体では、「暮らしてきてよかった」の割合が49.2%で最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしてきてよかった」が39.5%と高かった。これら2つの選択肢の合計割合が88.7%となり、昨年度の調査の結果から2.1ポイント増加した。
- ・「年代別」では、60歳以上の「暮らしてきてよかった」の回答割合が53.9%と高く、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られた。



問 13 本県の暮らしの「現在の充足度」と「将来の重要度」についてお聞きします。あなたは次の 25 の項目について現在どの程度充足されていると考えますか。また、将来の福井県において、どの程度重要であると考えますか。最も当てはまるものを 1 つずつ選んで○をつけてください。

※得点の算出方法

「充足されている」＝4点から「充足されていない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化。

<現在の充足度>

区分	項目	充足されている	どちらかといえば充足されている	どちらともいえない	どちらかといえば充足されていない	充足されていない	無回答	得点
健康	1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	487	744	247	129	32	47	2.9
	2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	207	513	562	250	93	61	2.3
	3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	243	712	471	149	52	59	2.6
	4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	234	737	517	100	26	72	2.7
	5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	150	585	670	158	49	74	2.4
	小計	1321	3291	2467	786	252	313	12.9
文化	6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	153	427	626	292	114	74	2.1
	7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	183	542	589	233	65	74	2.3
	8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	283	745	458	103	22	75	2.7
	9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	229	679	548	134	18	78	2.6
	10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	45	198	734	378	250	81	1.6
	小計	893	2591	2955	1140	469	382	11.3
仕事	11.安定した産業基盤が維持されている	94	434	745	241	85	87	2.1
	12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	55	232	845	323	130	101	1.8
	13.働く場所と機会が確保されている	117	487	675	216	98	93	2.2
	14.働きたいと思える魅力的な職場がある	52	233	786	347	166	102	1.8
	15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	119	438	679	273	85	92	2.1
	小計	437	1824	3730	1400	564	475	10.0
生活	16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	171	738	588	87	20	82	2.6
	17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	395	871	281	45	20	74	3.0
	18.住宅や公園などの生活環境が充実している	202	599	584	170	51	80	2.5
	19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	98	401	531	369	201	86	1.9
	20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	582	767	214	33	17	73	3.2
	小計	1448	3376	2198	704	309	395	13.2
教育	21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	280	789	417	79	31	90	2.8
	22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	244	754	497	70	31	90	2.7
	23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	104	458	809	151	65	99	2.2
	24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	68	277	867	288	89	97	2.0
	25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	218	711	526	112	30	89	2.6
	小計	914	2989	3116	700	246	465	12.3
	総計	5013	14071	14466	4730	1840	2030	59.7

- ・区分別では、「生活」の充足度が13.2ポイントで最も高く、「健康」が12.9ポイント、「教育」が12.3ポイント、「文化」が11.3ポイントと続いた。一方、「仕事」の充足度が最も低く、10.0ポイントとなっている。
- ・全体の総合計は59.7ポイントと、昨年度の57.1ポイントから2.6伸びた。中でも、「健康」と「仕事」の伸び幅は大きく、いずれも昨年度から0.7伸長した。
- ・「健康」では、いずれの項目においても充足度が2ポイント台と全体的に高く、中でも「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」は2.9ポイントと特に高くなっている。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が2.7ポイントと、区内で最も高くなった一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」は1.6ポイントとなり、全区分の中でも最低となった。
- ・「仕事」では、「働く場所と機会が確保されている」が2.2ポイントと、昨年度から0.2伸びた。また、「働きたいと思える魅力的な職場がある」は昨年度から0.2伸びているものの、1.8ポイント、「起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている」も同じく1.8ポイントと、全項目中でも低い結果となった。
- ・「生活」では、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が3.2ポイントと、昨年度に引き続き全項目中で最も高い充足度となった。また、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」も3.0ポイントと高い結果になった。一方で、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」は1.9ポイントと低くなっている。
- ・「教育」では、いずれの項目においても充足度が2ポイント台と高く、中でも「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が2.8ポイントと特に高くなっている。一方「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」は2.0ポイントと充足度が低くなっている。

<将来の重要度>

※得点の算出方法

「重要」＝4点から「重要ではない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化。

区分	項目	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答	得点
健康	1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	1182	344	51	5	4	100	3.7
	2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	558	725	255	27	5	116	3.1
	3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	793	579	174	12	6	122	3.4
	4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	544	670	290	43	19	120	3.1
	5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	799	552	185	11	13	126	3.4
	小計	3876	2870	955	98	47	584	16.7
文化	6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	352	629	476	67	29	133	2.8
	7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	444	748	318	30	10	136	3.0
	8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	682	640	206	17	5	136	3.3
	9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	498	693	305	42	15	133	3.0
	10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	314	577	533	92	41	129	2.7
	小計	2290	3287	1838	248	100	667	14.8
仕事	11.安定した産業基盤が維持されている	790	547	196	10	4	139	3.4
	12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	562	594	342	33	8	147	3.1
	13.働く場所と機会が確保されている	821	518	182	16	5	144	3.4
	14.働きたいと思える魅力的な職場がある	786	493	235	25	4	143	3.3
	15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	883	469	174	16	8	136	3.4
	小計	3842	2621	1129	100	29	709	16.6
生活	16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	653	661	212	15	9	136	3.2
	17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	1101	365	84	5	4	127	3.6
	18.住宅や公園などの生活環境が充実している	672	655	206	15	6	132	3.3
	19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	806	570	133	25	13	139	3.4
	20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	1013	441	90	7	8	127	3.6
	小計	4245	2692	725	67	40	661	17.1
教育	21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	1039	385	111	2	3	146	3.6
	22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	910	485	131	11	2	147	3.5
	23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	799	511	215	7	4	150	3.4
	24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	584	578	333	26	10	155	3.1
	25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	958	430	142	5	2	149	3.5
	小計	4290	2389	932	51	21	747	17.1
	総計	1854	1385	5579	564	237	3368	82.3

- ・区分別では、「生活」と「教育」の重要度が17.1ポイントで最も高く、「健康」が16.7ポイント、「仕事」が16.6ポイントと続いた。最もポイントが低くなったのは「文化」で、14.8ポイントだった。
- ・「健康」では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が3.7ポイントと全25項目の中でも最も高かった。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が3.3ポイントと最も高くなった一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」においては、全25項目の中でも最も低い2.7ポイントとなった。
- ・「仕事」では、「安定した産業基盤が維持されている」および「働く場所と機会が確保されている」、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」がいずれも高く、3.4ポイントとなっている。
- ・「生活」では、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」と「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が3.6ポイントと高くなった。
- ・「教育」では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が3.6ポイントと高くなった。

<現在の充足度と将来の重要度の差>

- ・区分別では、「仕事」の差分が最も大きく、全項目において1.0以上、合計では現在の充足度から6.6の差分が生じている。最も差分が小さかったのは「文化」で、合計で3.5の差分になっている。
- ・全25項目中最も差分が大きくなったのは、「仕事」の「働きたいと思える魅力的な職場がある」と、「生活」の「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」で、1.5ポイント差となっている。
- ・「仕事」以外で差分が大きかった項目として、「教育」の「高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行なわれている」で、1.2ポイント差となっている。

問 14 あなたは、問 13 の 25 の項目について将来不安を感じていることはありますか。当てはまるものを全て選択し、以下に番号を記入してください。

【健康】

1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	297
2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	80
3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	149
4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	112
5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	315

【文化】

6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	49
7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	57
8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	118
9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	89
10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	58

【仕事】

11. 安定した産業基盤が維持されている	240
12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	101
13. 働く場所と機会が確保されている	287
14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	289
15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	247

【生活】

16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	135
17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	270
18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	85
19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	316
20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	152

【教育】

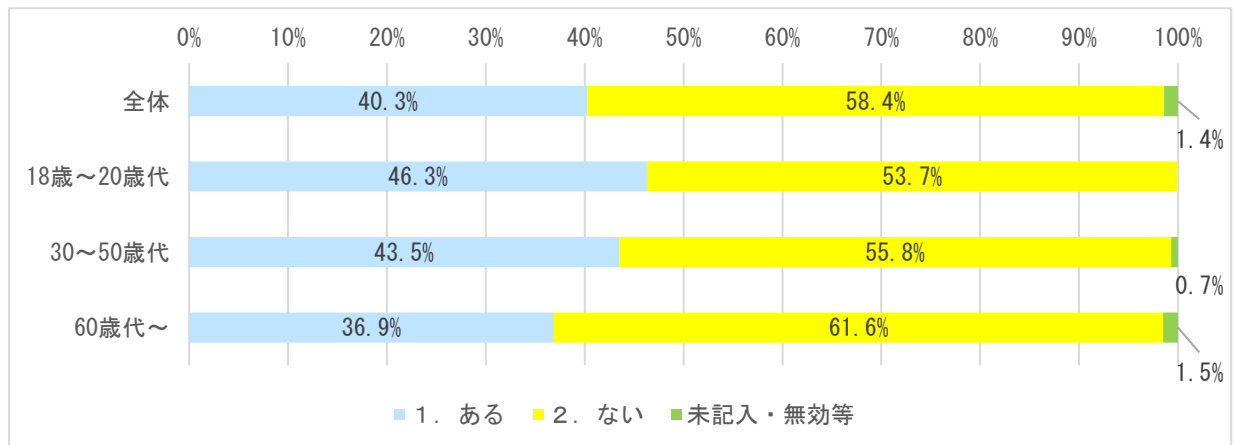
21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	217
22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	121
23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	161
24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	108
25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	221

- ・全体では、「福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が最も高く、18.7%となっている。
- ・年代別でみると、18歳～20歳代では、「働きたいと思える魅力的な職場がある」が25.6%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」で24.8%、「働く場所と機会が確保されている」が21.5%となっている。
30～50歳代では、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が21.2%と最も高く、次いで「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が19.9%、「働きたいと思える魅力的な職場がある」が19.6%になっている。
- 60歳以上の世代では、「福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」が18.9%と最も高く、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が17.3%、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が16.8%と続いている。

問 15 あなたは過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがありますか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. ある (679)
2. ない (984)

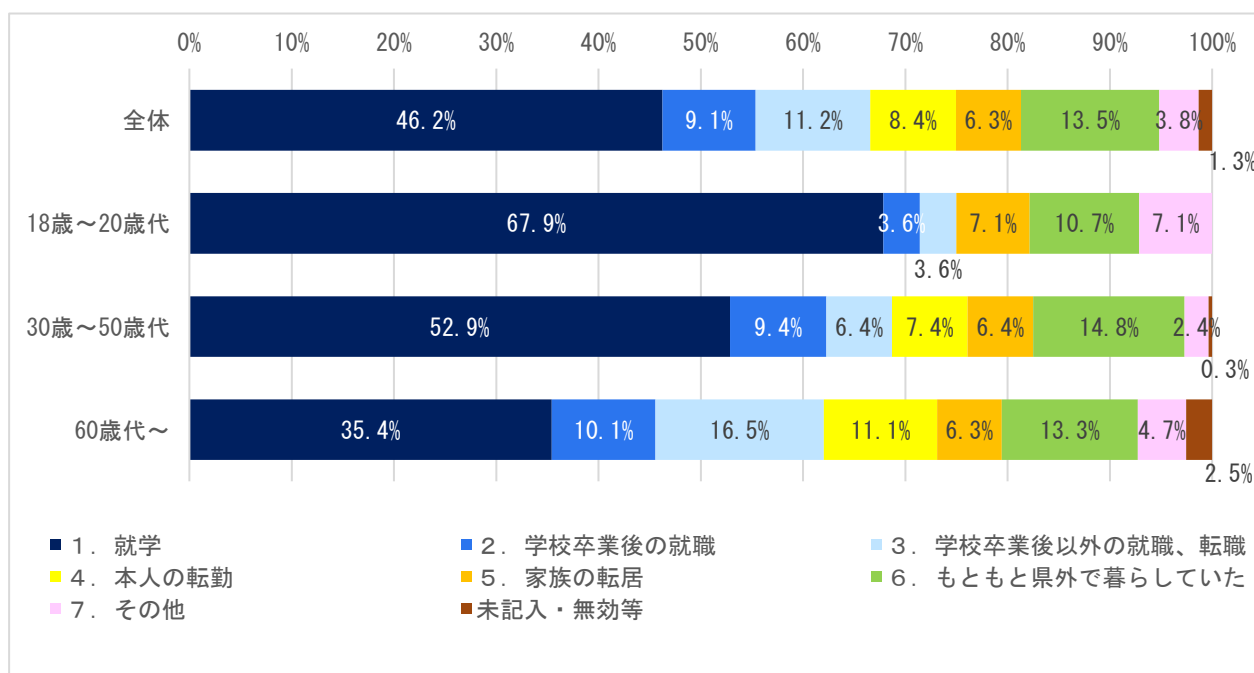
- ・「過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがある」の割合は、全体では40.3%となり、年代別では、18歳～20歳代が46.3%と最も高かった。
- ・地域別でみると、「嶺南地域」が43.0%と最も高く、一方「丹南地域」は37.1%と低くなった。



問 16 問 15 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らすことになった理由について、当てはまるものを 1つ 選んで○をつけてください。複数ある場合には、初めて県外で暮らすことになった時のことについてお答えください。

1. 就学（専門学校、大学、大学院）（314）
2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（62）
3. 2 以外の就職、転職（76）
4. 本人の転勤（57）
5. 家族の転居（43）
6. もともと県外で暮らしていた（92）
7. その他（26）

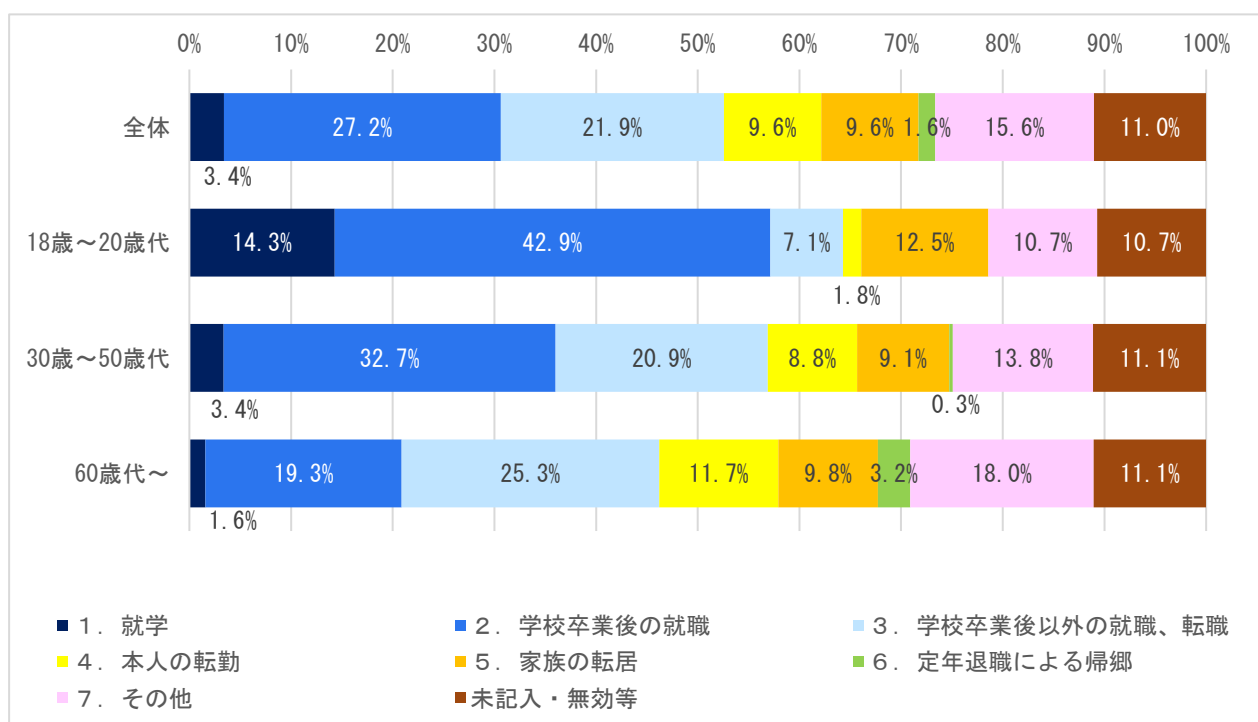
- ・全体では、「就学」の割合が 46.2%と最も高く、昨年度の調査の結果（38.6%）と比較して 7.6%増えている。次いで、「学校卒業後以外の就職・転職」が 11.2%、「学校卒業後の就職」が 9.1%と続くが、これらは昨年度の調査の結果を下回った（学校卒業後は 14.3%、卒業後以外は 13.5%）。
- ・年代別で見ると、18 歳～20 歳代では「就学」が圧倒的に高く 67.9%となっており、昨年度と比較して 9.2%高くなっている。30～50 歳代でも、「就学」が 52.9%と最も高いものの、「もともと県外で暮らしていた」割合が 14.8%と他の世代に比べて高くなっている。60 歳代以上では、「就学」（35.4%）に次いで「学校卒業後以外の就職」の割合が 16.5%と高くなっている。



問 17 問 15 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域から福井県に戻る（来る）ことになった理由について、当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。複数ある場合には、初めて戻る（来る）ことになった時のことについてお答えください。

1. 就学（専門学校、大学、大学院）（23）
2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（185）
3. 2以外の就職、転職（149）
4. 本人の転勤（65）
5. 家族の転居（65）
6. 定年退職による帰郷（11）
7. その他（106）

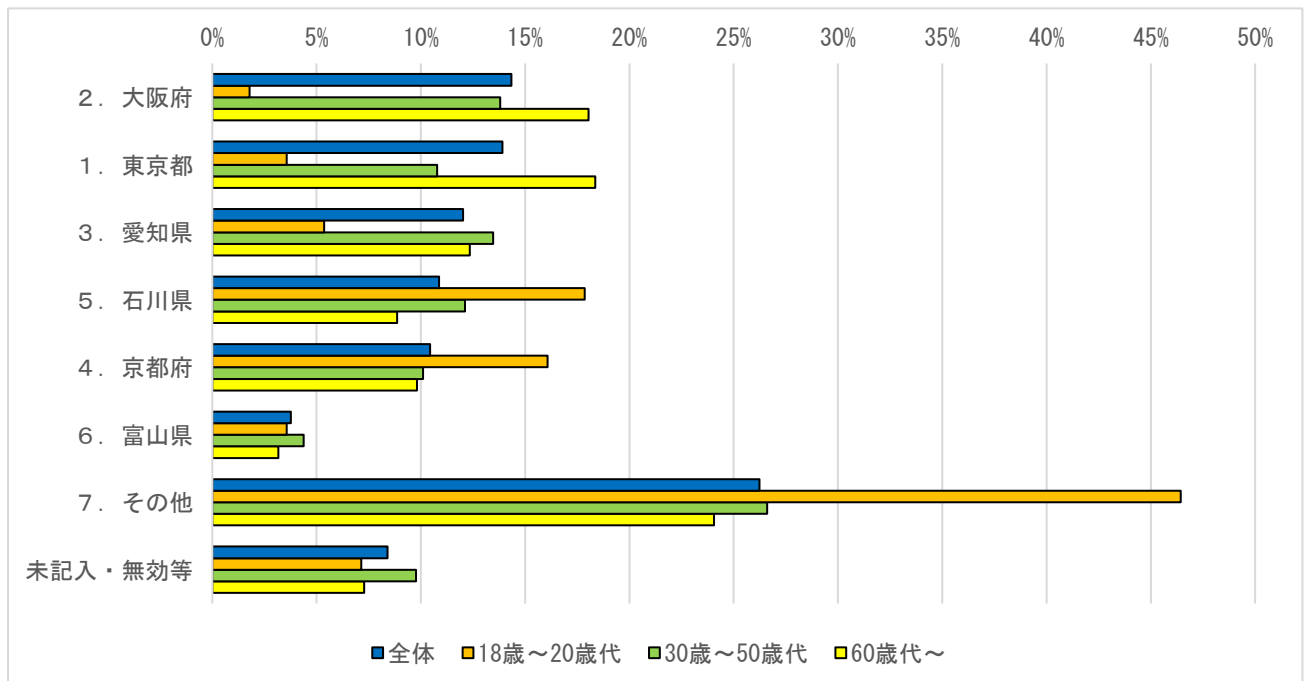
- ・ 全体では、「学校卒業後の就職」が 27.2%と最も高く、次いで「学校卒業後以外の就職」が 21.9%となっている。
- ・ 年代別でみると、18歳～20歳代では、「学校卒業後の就職」（42.9%）に続き、「就学」が 14.3%となっており、これは昨年度と比較すると 7.8%増えている。



問 18 問 15 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外で暮らしたことがある地域はどこですか。当てはまるものを 1つ 選んで○をつけてください。複数ある場合には、最も長く暮らした地域をお答えください。

1. 東京都 (96)
2. 大阪府 (99)
3. 愛知県 (83)
4. 京都府 (72)
5. 石川県 (75)
6. 富山県 (26)
7. その他 (181)

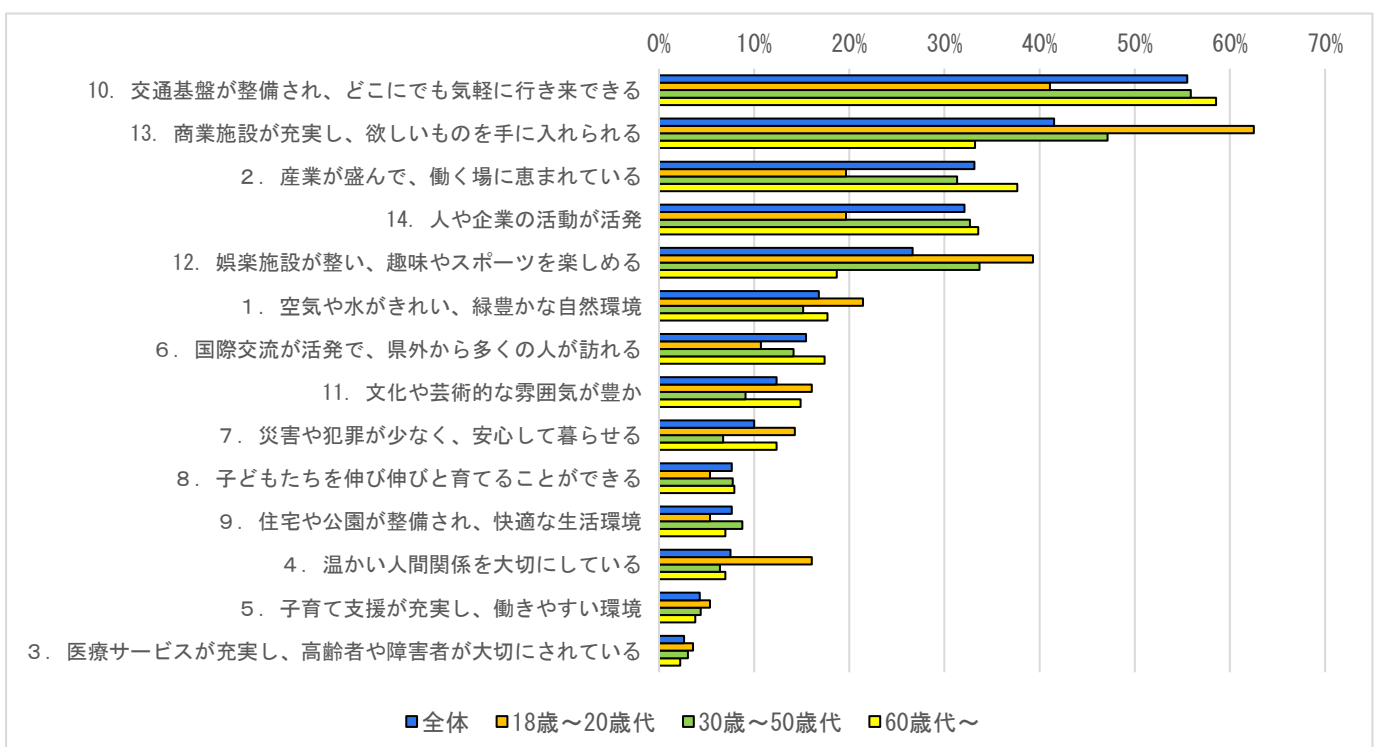
- ・全体では、「その他」を除くと、「大阪府」の割合が最も高く、14.3%だった。次いで「東京都」が13.9%となっている。
- ・年代別で見ると、18歳～20歳代では「その他」を除くと「石川県」が17.9%と最も高く、次いで京都府が16.1%となっている。



問 19 問 15 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らしてみても、福井県よりも良かったと思うことは何ですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (114)
2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (225)
3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている (18)
4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (51)
5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (29)
6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (105)
7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (68)
8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (52)
9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (52)
10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (377)
11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (84)
12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (181)
13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (282)
14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である (218)

- ・全体では、「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が55.5%と最も高かった。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代では、「商業施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる」が62.5%と最も高くなっている。一方、30～50歳代および60歳代以上の世代では、「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が最も高く、それぞれの世代で、50%を超えていた。



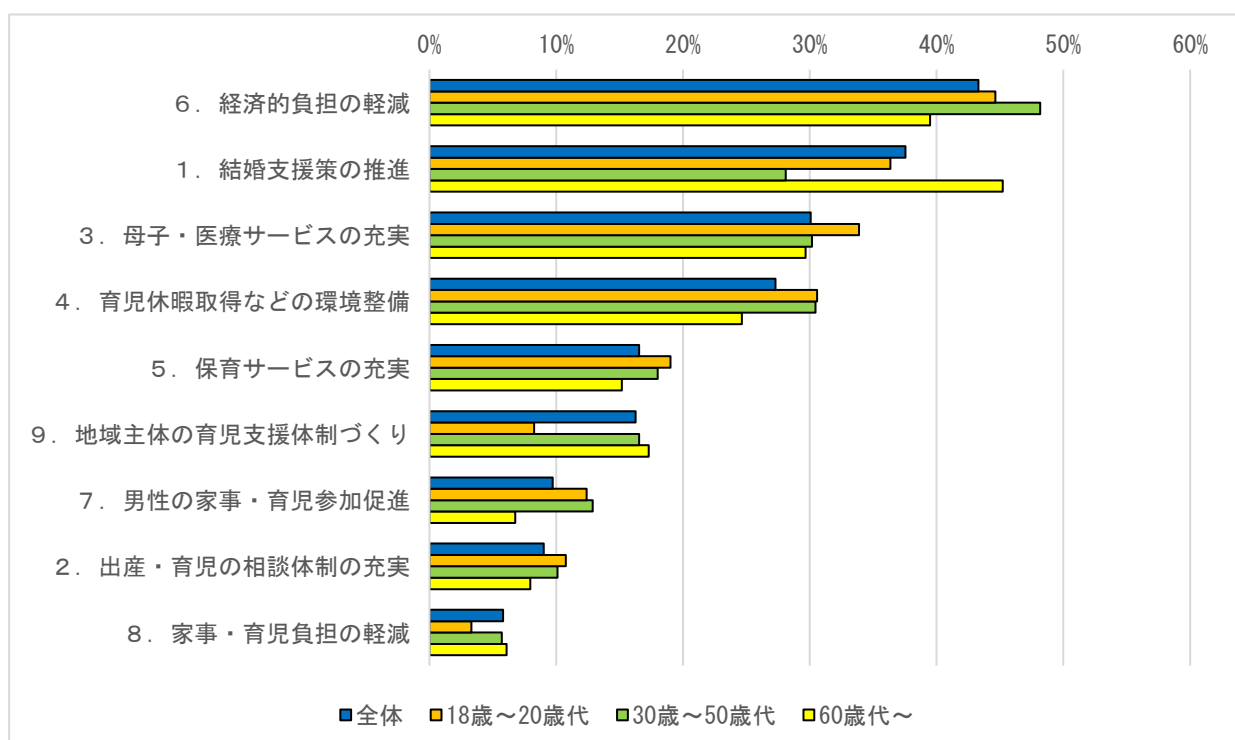
問 20 福井県の人口減少対策（主に自然減※1対策）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

1. 若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること（633）
2. 気軽に出産・育児の相談ができる体制を充実すること（152）
3. 安心して出産・子育てができる母子・医療サービスを充実すること（507）
4. 企業における産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援すること（460）
5. 保育所やこども園の保育サービスを充実すること（279）
6. 育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと（730）
7. 男性の家事・育児への参加を促進すること（164）
8. 家事代行サービスや、ベビーシッターなど家事・育児の負担を軽減するための支援を行うこと（98）
9. 地域（自治体）主体で、育児支援（未就学児託児・放課後見守り等）を行なう体制づくり（274）

※1 自然減：出生と死亡の差がマイナスとなること。

・全体では、「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」が43.3%と最も高く、次いで「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」が37.5%と続いている。

・年代別でみると、18歳～20歳代および30～50歳代では、「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」がともに40%を超える回答があったのに対し、60歳代以上では、「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」が最も高く、45.2%だった。

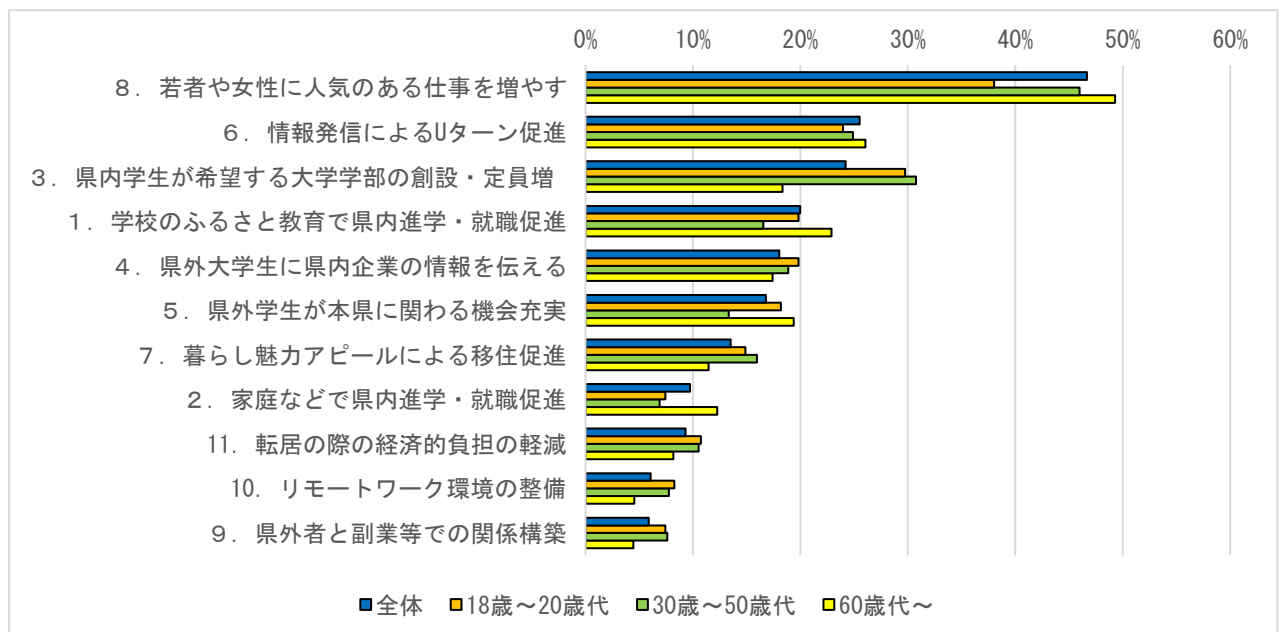


問 21 福井県の人口減少対策（主に社会減※2対策）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いませんか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

1. 学校でのふるさと教育を充実して県内での進学・就職を促すこと（337）
2. 家族などが子どもに対して県内での進学・就職を促すこと（164）
3. 県内学生が希望する大学学部の創設・定員増（408）
4. 県外大学との連携を強化し、県内企業の情報を学生に直接伝えるなどの仕組みを整備すること（304）
5. 県外の学生や若者が本県に滞在し地域課題の解決に取り組むプロジェクトなど、本県に深く関わる機会を充実すること（283）
6. 県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること（430）
7. 三大都市圏などで福井の暮らしの魅力をアピールして移住を促進すること（228）
8. 企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと（787）
9. 県外者が兼業・副業等により、本県へ定期的に訪れる関係を構築すること（99）
10. コワーキングスペースなどのリモートワークが出来る環境の整備（102）
11. 転居の際の経済的負担の軽減（157）

※2 社会減：転出による人口の減少のこと。

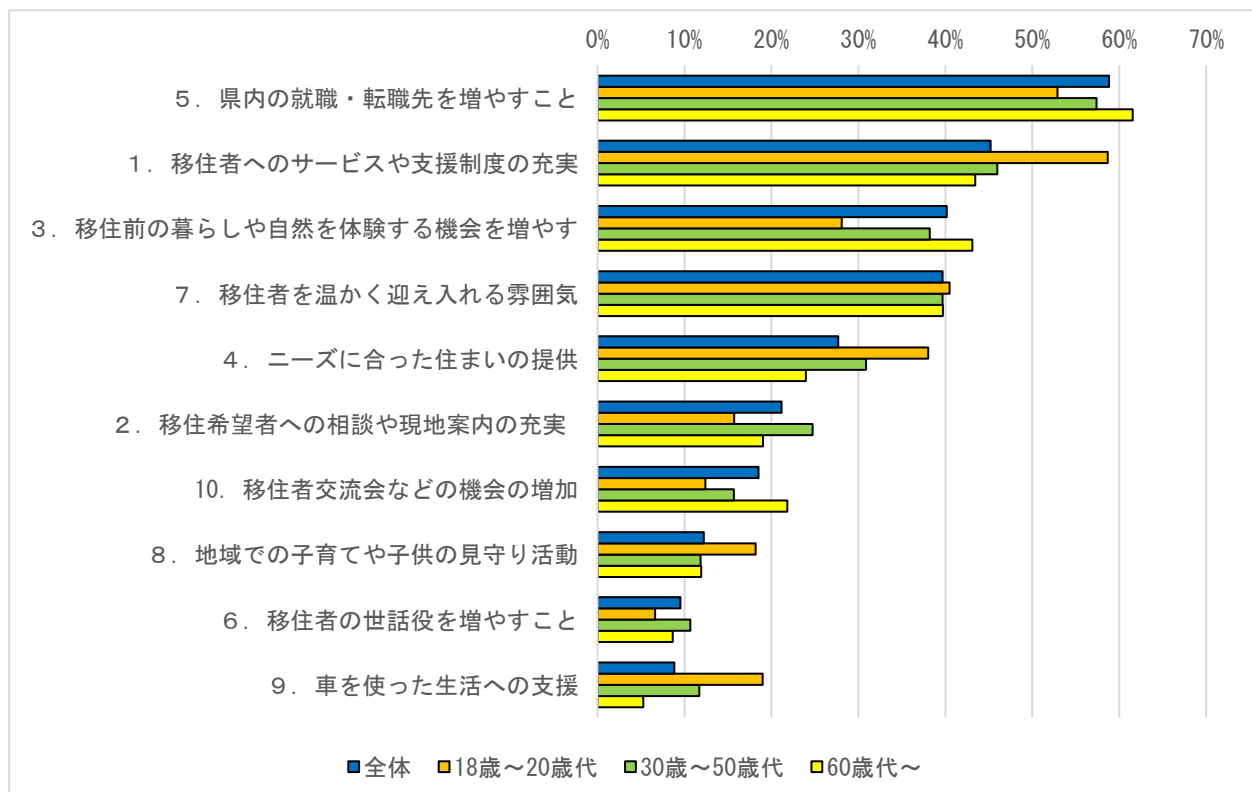
- ・全体では、「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」が46.7%と最も高く、次いで「県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること」が25.5%で高くなった。
- ・年代別では、60歳以上の「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」が特に高く、49.3%だった。



問 22 近年、都市部に住む人たちの地方移住への関心が高まっていますが、移住を考えている人に福井県を選んでもらうために必要な取り組みは何だと思えますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

1. 移住する人に対するサービスや支援制度の充実 (762)
2. 移住を考えている人に対する先輩移住者等による相談や現地案内の充実 (357)
3. 移住する前に福井県の暮らしや自然を体験する機会を増やす (677)
4. 移住する人のニーズに合った住まいの提供 (467)
5. 移住者を積極的に受け入れる県内の就職・転職先を増やすこと (992)
6. 移住してきた人が地域になじむための世話役を増やすこと (161)
7. 移住してきた人を温かく迎え入れる雰囲気 (669)
8. 地域全体での子育てや地域での子供の見守り活動を行うこと (206)
9. 車を使った生活に慣れるための支援 (149)
10. 移住者と地域住民が交流する移住者交流会などの機会の増加 (312)

- ・全体では、「移住者を積極的に受け入れる県内の就職・転職先を増やすこと」が58.8%と最も高く、次いで「移住する人に対するサービスや支援制度の充実」が45.2%と高くなっている。
- ・年代別では、60歳以上の世代について、「移住者を積極的に受け入れる県内の就職・転職先を増やすこと」が61.6%と特に高かった。

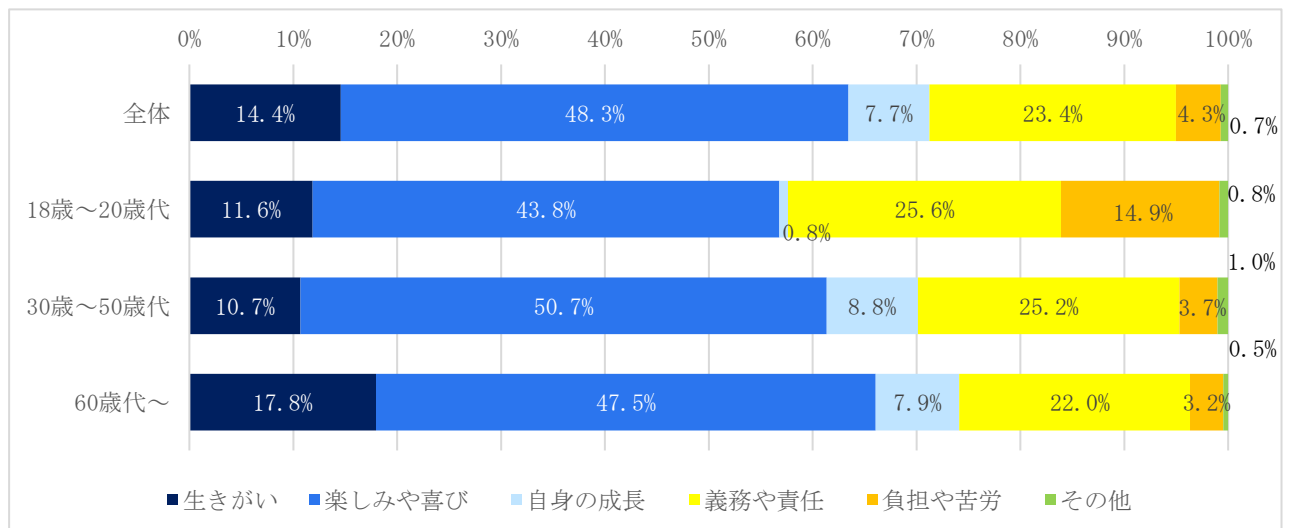


問 23 子育てについてお聞きします。

あなたは、子育てについてどのようなイメージを持っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 生きがい (243)
2. 楽しみや喜び (814)
3. 義務や責任 (395)
4. 負担や苦勞 (72)
5. 自身の成長 (130)
6. その他 (12)

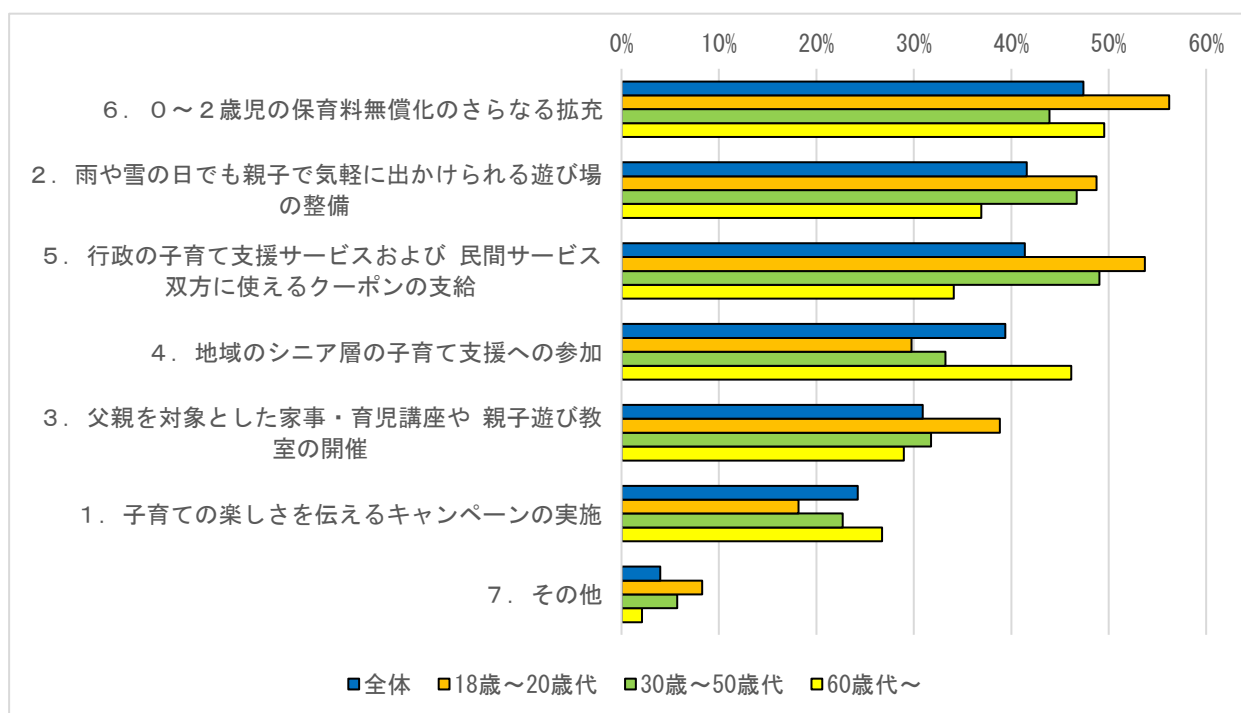
- ・全体でみると、「楽しみや喜び」が48.3%で最も高く、次いで「義務や責任」が23.4%と続いている。
- ・年代別でみると、18歳～20歳代では、「義務や責任」が25.6%、「負担や苦勞」が14.9%と他の世代よりも高かった一方、30～50歳代では、「楽しみや喜び」が50.7%で高くなった。60歳以上では、「生きがい」が17.8%と他の世代よりも高かった。



問 24 「時間がない」「体力がきつい」「お金がかかる」といった子育てが大変だというイメージを持っている方への取組みとして有効だと思うものを、いくつでも選んで○をつけてください。

1. 子育ての楽しさを伝えるキャンペーンの実施 (409)
2. 雨や雪の日でも親子で気軽に出かけられる遊び場の整備 (701)
3. 父親の家事・育児への参加を促すため、父親を対象とした家事・育児講座や親子遊び教室の開催 (521)
4. 地域全体で子育てを支援するため、地域のシニア層の子育て支援への参加(一時預かり、送迎など) (664)
5. 家事・育児の負担を減らすために、行政の子育て支援サービスおよび民間サービス(家事支援等)双方に使えるクーポンの支給 (698)
6. 0～2歳児の保育料無償化のさらなる拡充 (799)
7. その他 (67)

- ・全体で見ると、「0～2歳児の保育料無償化のさらなる拡充」が47.4%で最も高く、次いで「雨や雪の日でも親子で気軽に出かけられる遊び場の整備」が41.6%で高くなった。
- ・年代別では、18歳～20歳代で「0～2歳児の保育料無償化のさらなる拡充」が56.2%と高くなった。30～50歳代では、「家事・育児の負担を減らすために、行政の子育て支援サービスおよび民間サービス(家事支援等)双方に使えるクーポンの支給」が最も高く、49.0%だった。60歳以上では、「0～2歳児の保育料無償化のさらなる拡充」(49.5%)に次いで、「地域全体で子育てを支援するため、地域のシニア層の子育て支援への参加」が46.1%と高かった。

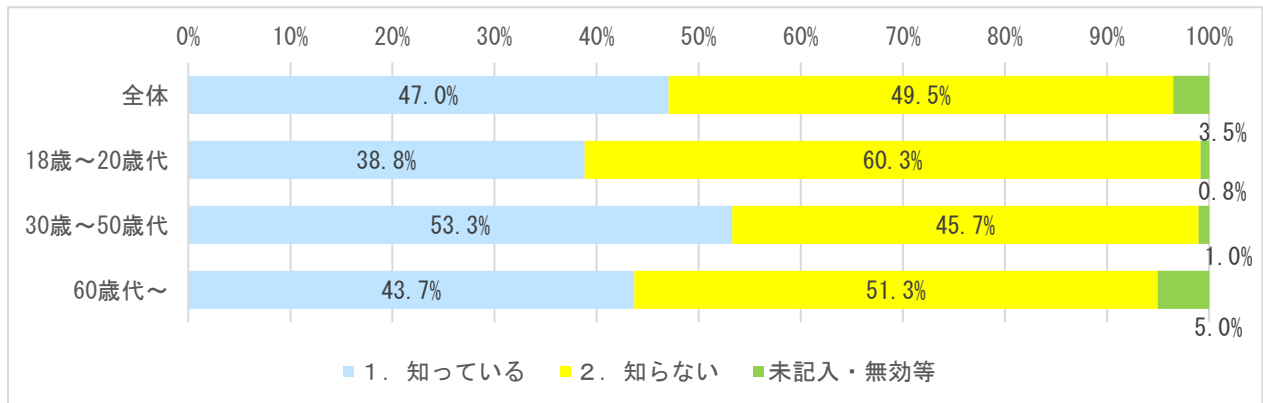


問 25 福井県では、これまで第3子以降に対する保育料や病児保育等利用料の無償化など、子育ての負担の大きい多子世帯への支援を行ってきました。さらに令和2年度からは、保育料の無償化を第2子以降へ拡充するとともに、これまで支援のなかった在宅育児世帯への手当の創設を盛り込んだ「子だくさんふくいプロジェクト」をスタートさせ、様々な子育て世帯へのよりきめ細やかな支援を市町とともに進めています。

以下の支援について、知っている場合は1、知らない場合は2に○をつけてください。

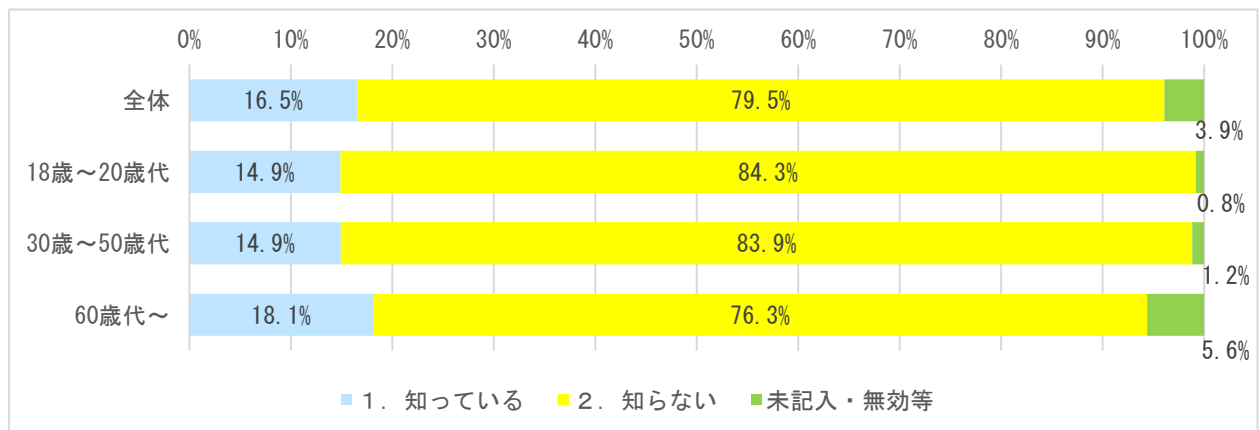
1. 保育料無償化

- ・全体では、「知っている」が47.0%、「知らない」が49.5%となった。
- ・年代別では、30～50歳代で「知っている」が53.3%と最も高かった。



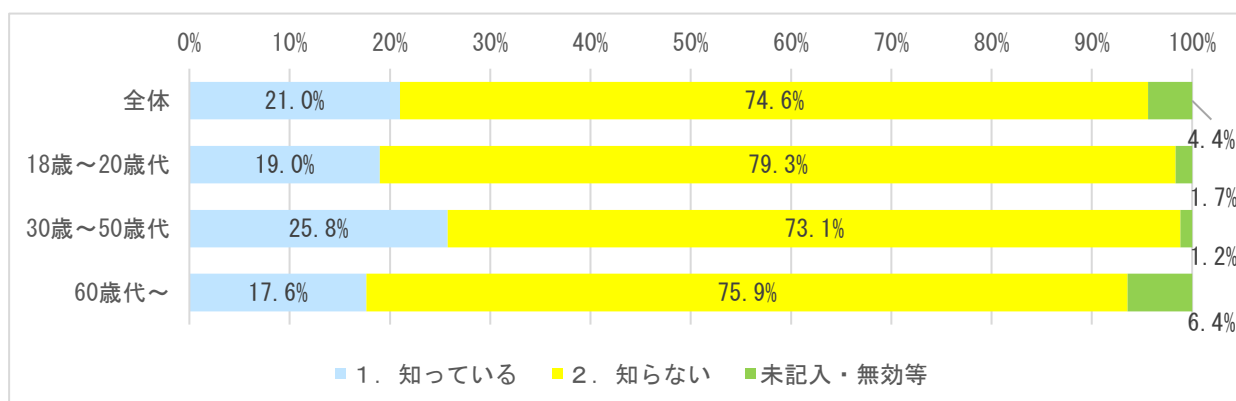
2. 在宅育児応援手当

- ・全体では、「知っている」が16.5%、「知らない」が79.5%となった。
- ・年代別では、60歳以上で「知っている」が18.1%と他の世代よりも高かった。



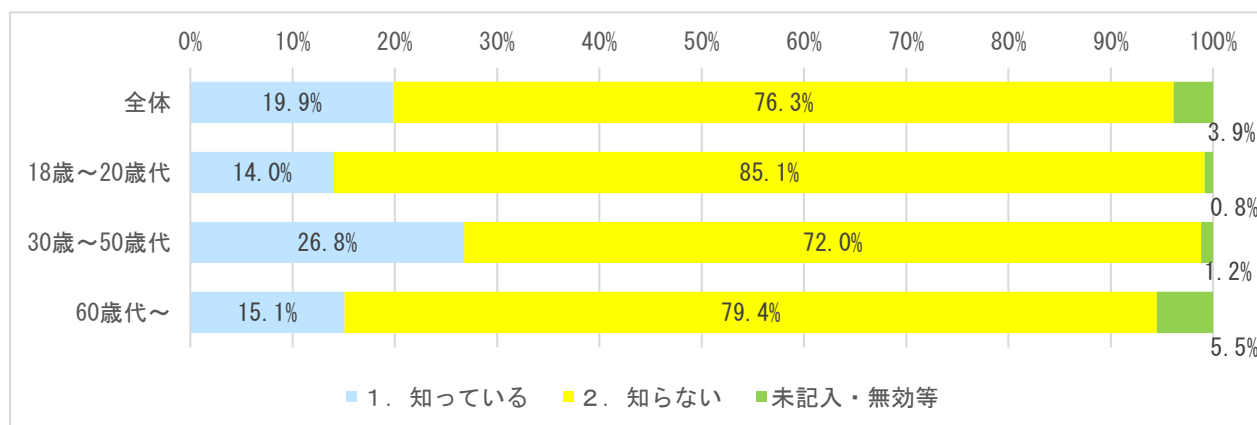
3. 一時預り事業

- ・全体では、「知っている」が21.0%、「知らない」が74.6%となった。
- ・年代別では、30～50歳代の「知っている」が25.8%と最も高かった。



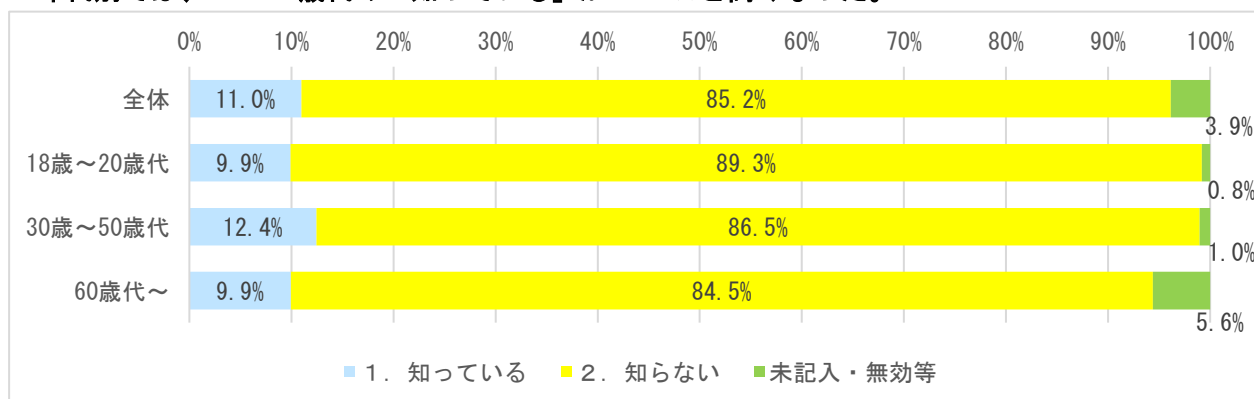
4. 病児デイケア促進事業

- ・全体では、「知っている」が19.9%、「知らない」が76.3%となった。
- ・年代別では、30～50歳代の「知っている」が26.8%と他の世代よりも高かった。



5. すみずみ子育てサポート事業

- ・全体では、「知っている」が11.0%、「知らない」が85.2%となった。
- ・年代別では、30～50歳代の「知っている」が12.4%と高くなった。



問 26 その他、ご意見があれば自由に記載してください。（略）